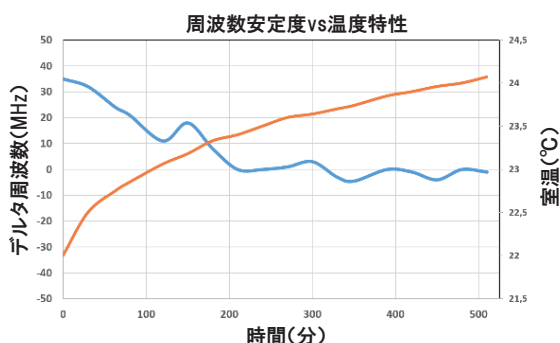
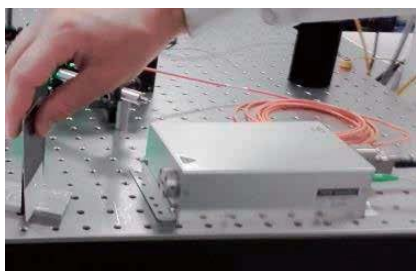




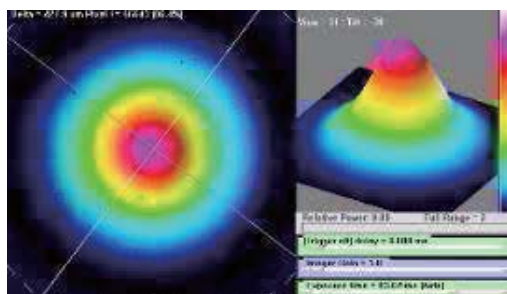
ALS 351 CWファイバーレーザー 30mW

MOPA(主発振器出力増幅器)構造を搭載したファイバーレーザー

単一周波数で超低ノイズ、高い出力安定のIR(赤外)ファイバーレーザービーム(1053nm)の第三高調波発生(THG)



上記のグラフは、ALS-BIレーザーの長時間における周波数安定度を示しています(青線:周波数MHz、赤線:室温°C)。中心周波数の安定性及びビーム位置安定性に関して、ホログラフィーをベースとする産業分野ではアルゴンレーザーの置き換えニーズに唯一対応した製品として承認されました。

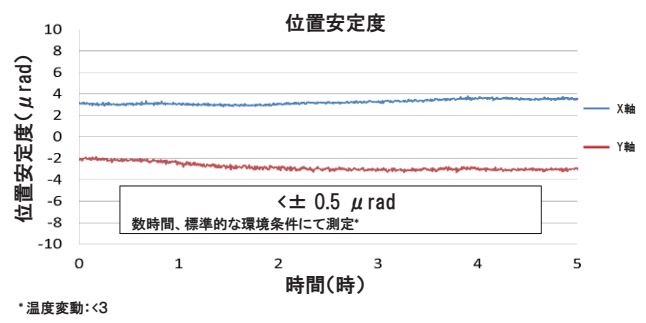


ALSレーザーは、シングルモードファイバーの構造のみを採用しており 高安定で優れたビーム質の単一空間モードを実現しています。
典型値: $M^2 < 1.2$

制御 - 測定用
アルゴンレーザー置き換え
フотルミネッセンス / ラマン
バイオフォトニック
フローサイトメトリー
デジタルホログラフィー

主な特徴

TEM₀₀モード
長いコヒーレンス長
 $M^2 < 1.2$
単一周波数
低ノイズ
優れたビーム位置安定性
優れた出力安定性
高い偏光比と安定性
非冷却式レーザーヘッド
コンパクト設計
メンテナンスフリー - 長寿命
低消費電力
OEMにも対応



上記グラフは、標準で用意されているALS-BL-355 レーザーのビーム位置安定性を示しています。中心周波数の安定性及びビーム位置安定性に関して、産業分野ではアルゴンレーザーの置き換えニーズに唯一対応した製品として承認されました。

内部にシーダーを含む 351nmファイバーレーザー

波長 ⁽¹⁾	351 ± 0.5nm
出力	30 mW
出力可変	10 ~ 100%
ビーム質	M ² < 1.2
ビーム径(自由空間出力)	< 0.7 mm
ビーム拡がり角(半角)	< 0.6 mrad (FW@1/e ²)
空間モード	TEM ₀₀
スペクトル線幅 (単一周波数発振) ⁽²⁾	< 10 MHz
出力安定性 短時間 8時間以上	< ± 0.5 % < ± 1 %
ノイズ(100Hz - 10MHz) (単一周波数発振)	< 0.3 % rms
周波数安定性 ⁽³⁾	< 0.1 pm
出力偏光	直線 > 100 : 1
ビーム位置安定性	< ± 20 μrad/°C
出力	レーザーヘッド部でフリースペース出力
レーザー制御	マルチターン・ポテンシオメータ/タッチ・スクリーン/アナログ電圧
電源要件	90-240V/50-60Hz
消費電力(W)	150 < … < 300 W
冷却方式	空冷

- (1): ご要望により他波長も対応可能
 (2): レーザー内部の標準的なシーダーに基づく
 (3): 単一周波数発振のみ対応。8時間以上、周辺温度変化が<3°Cで測定

寸法

レーザーラック	480 x 460 x 130mm
レーザーヘッド	170 x 120 x 50mm



ラックとレーザーヘッドからのビーム出力部間の
 ケーブル長: 約 1.35 m
 非冷却式レーザーヘッド
 THG温度コントローラ
 空冷式電源ユニット - 横幅: 19インチ(482.6mm)
 高さ: 3U(5.25インチ/133.35mm)



ご要望により、ビーム出力方式にカスタム対応致します